

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>3. 地下鉄ホームにおける転落防止柵について</p> <p>乗降客の安全のため、新幹線の新神戸駅には転落防止柵が設置されており、また、新交通においても駅のホームに自動ドアが設置されている。ところが、乗降客の多いJRや阪急、阪神等の私鉄、そして神戸市営地下鉄には設置されていない。</p> <p>ホームでの事故がたびたび新聞やテレビで報道されている。柵さえあれば起こらなかったという事故がたくさんある。</p> <p>公共交通機関の運行においては、安全で事故がないということが最も大事なことであり、市内全ての駅に転落防止柵を設置すれば、神戸のステータスの向上にもつながる。</p> <p>そこで、交通局と協議し、まずは市営地下鉄山手線、海岸線の各駅において、転落防止柵を設置してはどうか。見解を伺いたい。</p>	<p>末永参事</p>	<p>公共交通機関の運行においては、市民や来街者の安全・安心を確保することが大変重要であると考えている。</p> <p>交通局では、神戸市営地下鉄のプラットホームからの転落事故に対する安全対策については、平成13年2月に近畿運輸局長名で通達が出され、これに基づいて実施している。</p> <p>具体的には、ラッシュ時に駅員によるホーム監視等のいわゆるソフト面での対応、列車を非常停止させるための押しボタンのホームへの設置を平成22年度中に全駅で完了させる予定であるほか、ホーム下の退避スペースについては、すでに整備を全駅で完了しているなど、ソフト・ハードの両面から利用者の安全確保に努めているところである。</p> <p>可動式のホーム柵については、交通局にて検討を進めているが、ホーム柵の設置に加え、車両側の改造等も必要になり多額の費用を要することから、現状の厳しい経営状況の中では、すぐに実施することは難しいのではないかと考えている。国に対して、整備費用に係る財政的な支援を拡充していただけるように要望している。また、補助制度を活用しても膨大な費用がかかるため、ホーム柵設置の経費が低減できないか、様々な角度から検討を進めているところである。</p> <p>企画調整局としても、できるだけ早期にホーム柵の設置が実現するよう、今後も交通局と連携し、国に対して、安全性向上の推進に必要な対策工事に対する財政措置の拡充等について、継続して強く働きかけてまいりたい。</p>
<p>(再質問)</p> <p>地下鉄ホームの転落防止については、平成13年2月19日に通達があるが、安全柵を作ってはいけないと</p>	<p>末永参事</p>	<p>ホームの安全柵等に関する検討については、通達の中で施設の配置状況や混雑状況などを総合的に勘案しながら行っていくものと解釈している。ま</p>

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>は書いていない。私が少し調べただけで日本全国、大阪も京都も名古屋も安全柵をいっぱい作っている。</p> <p>安全柵については、お金がないからでは通らない。お金はないが、工面していかなければならない。どんな工面をするかといえば、ネーミングライツを使えばよい。ポートライナーという電車が「ポートライナー」と書いて走っていても1円にもならない。どこかの企業が10億円出してくれればいっぺんに出来る。</p> <p>行財政局で、景気が悪いからなかなかいい企業が集まらないと言っていたが、それでも出したい企業はある。ポートライナーという名前ではお金にならない。神戸市営地下鉄山手線というのもお金にならないが、全部をネーミングライツに出すことを考えてほしい。安全のために全力で頑張ってもらいたい。</p> <p>(要 望)</p> <p>ネーミングライツについて、神戸市が全国に先駆けてやってきたことは理解している。しかし、その後何にもしていない。</p> <p>ネーミングライツを使ったスカイマークやホームズスタジアムは野球やサッカーだけに使うのはもったい</p>	<p>今西部長</p>	<p>た、全国の事例については我々も把握している。いずれにしても、安全ということに関して、交通局と協力しながら全力で取り組んでまいりたい。</p> <p>ネーミングライツについては、本市は新たな財源確保として全国に先駆けて実施してきたという実績があり、今後も公共施設の性格を損なわないという制約があるが、積極的に取り組まなければならないと思っている。</p> <p>市営地下鉄の線名についてネーミングライツをしてはどうかというご指摘だが、昨年度まで交通局におき、何とかできないかとして代理店も入れて検討してきた。実際には既に西神・山手線は「みどりのUライン」という愛称があり、愛称をどこまで他の事業者が使っていただけるのかということも含めて検討してみた。具体的に企業が持って来れないか話をさせていただいた。いろいろ課題があったが、最大の課題は、「西神・山手線」という表示がされているものがものすごく多く、この表示の変更だけで5,000万ぐらい事業者の負担がある。また、3～5年ネーミングライツの期間があるが、その後を引き継げればよいが、たまたまなかった場合は、現状に復旧しなければならない。代理店に企業にあたりをつけていただいたが、なかなか難しかった。他都市の3セクでネーミングライツで募集したこともあったが、残念ながら応募がなかったようである。非常に財源になる可能性があるものと思っており、引き続き研究させていただきたい。</p>

質疑者 北山 順一 委員

質 疑 要 旨	答 弁 者	答 弁 要 旨
<p>ないと思っている。グループサウンズを呼べば、一晩で5万人、6万人を呼べる。野球やサッカーは年間ずっとやっているわけではない。</p> <p>そういったことも含めて研究をしていただきたい。ネーミングライツは有効な手段になる。</p>		